

第六感劇場

つつじ忌

令和五年五月六日(土)・十三日(土)

おめえに逢いてえ、ただそれだけで

至 松代

至 長野

▲ 虚空蔵山

▲ 太郎山

■ 犀の角

上田駅

至 軽井沢

「つつじの娘」

祭りの晩、恋仲になった娘と男、山の向こうの松代に住まう男を想う娘の気持ちは次第に燃え上がり、娘は毎晩太郎山を越え男のもとに通うようになる。娘の熱き想いは、両手に握った米を餅に変えてしまうほど。ところが娘の想いを狂気と疑う男の気持ちは冷えてゆき、男は娘を崖から突き落としてしまう。太郎山一帯に咲き乱れるつつじは、哀れな娘の血がしたたった故と伝えられています。

山の夜道を通ってくるだ。

信州上田・太郎山に伝わる民話『つつじの娘』の“娘”を想う、五月の一週間 「第六感劇場 つつじ忌」

トークイベント
ファシリテーター 直井恵 (seitou 編集室) 花 塚田有一 娘 寂光根隅的父 男 GOKU 朗読 山崎到子 演奏 小野秀 演奏 大沢夏海

令和5年 5月6日(土)－13日(土) 犀の角 あるいは、{「太郎山」及び「虚空蔵山」に
思いを馳せることができる} あらゆる場所

5月6日(土)

5月7日(日)

5月7日(日)－11日(木)

5月13日(日)

re-seitou presents トークイベント
つーつーじーつーつーとーく

塚田有一氏による生け花ワークショップ
花の座 伝芭 犀の角座 つつじのめぐり花

つつじ鑑賞のできるカフェ
つつじのツノ

『つつじの娘』の登場人物“娘”の慰霊祭
山駈けの儀

主催：諏訪県実行委員会 プロデュース・構成：荒井洋文 併走サポート：清水洋幸 舞台監督：村上梓 照明：伊藤茶色 音響：尾関崇之 (EARTH SOUND FACTORY) 制作：唐川恵美子 宣伝美術：大沢夏海
協力：塩田平民話研究所 企画制作：一般社団法人シアター&アーツうえだ 後援：上田市、上田教育委員会 助成：令和5年度上田市文化支援事業

犀の角 長野県上田市中央2丁目11-20 TEL：0268-71-5221 (7:30-10:00 / 16:00-21:30 月曜定休) Mail：info@sainotsuno.org





第六感劇場 つっじ忌



「身体から発する情報を全身で交感すること」が演劇の条件であると仮定した場合
劇場に足を運ばずとも、目の前に俳優が居なくとも、映像や音声を紹介さずとも、
人間の五感（あるいは第六感）を研ぎ澄ますことによって、
俳優は観客を、観客は俳優を感じ取る「演劇」が成立するのではないか

第六感劇場とは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により劇場に人が集まることが難しくなった中、新たな演劇の在り方を模索しようと2021年から始まった試みです。
コロナ禍が終息へ向かうとされる今年も、問い直される「演劇」そして「劇場」の概念に対する挑戦は止みません。

「第六感劇場 つっじ忌」は信州上田・太郎山に伝わる民話『つっじの娘』にまつわる一連のイベントです。

最終日には、民話の登場人物・悲恋の娘の“慰霊祭”である『山駈けの儀』が、俳優の姿すら見えないほど遠く離れた場所で上演されます。
遠くの山で『山駈けの儀』が行われている間、「犀の角」では観客であり参列者の五感～第六感を研ぎ澄ます手助けとなるパフォーマンスが行われます。
映像、音声の配信は行いません。思いを馳せる遠隔参加。実際に会場に足を運んでの観劇。各々の地域から、各々のスタイルでお楽しみください。

5月6日(土)

re-seitou presents トークイベント

つーつーじー つーつーどーく

『つっじの娘』にちなみ、「恋」「愛」「性・生」「憎」「恨」にまつわるテーマについて気の済むまでおしゃべりしましょう。物語にちなみ、もちを使ったお雑煮もふるまいます。持ち寄り・カンパ歓迎。

ファシリテーター：直井恵（seitou 編集室）

- ◎ 日にち：令和5年5月6日(土)
- ◎ 時 間：19:00-気の済むまで（18:30開場）
- ◎ 料 金：1ドリンクオーダー ※予約不要
- ◎ 会 場：犀の角

5月7日(日)

塚田有一氏による生け花ワークショップ

花の座 伝芭 犀の角座 つゝじのめぐり花

「めぐり花」は花の連句です。3・11の震災の後をはじめ、日本列島の多様な風土をそれぞれの土地で再発見し、新しい風景を生み出していく花の祭りです。舞台のつゝじと響き合う、会場を彩る花をみんなで活けましょう！

講師：塚田有一（有限会社温室代表）

- ◎ 日にち：令和5年5月7日(日)
- ◎ 時 間：14:00-17:00（13:30開場）
- ◎ 料 金：4000円 ※要予約
- ◎ 定 員：15名
- ◎ 会 場：犀の角

要予約
ご予約はこちら



5月7日(日)ー11日(木)

つっじ鑑賞のできるカフェ

つっじのツノ

野山から切り出され、塚田有一によって舞台に活けられたつっじの花々。近くに寄れば、つっじ畑に身を投じているかのようですし、すこし遠くから眺めれば佇まいに息を呑むでしょう。ちょっと一味違った犀の角でゆったりとカフェメニューをお楽しみいただけます。

- ◎ 日にち：令和5年5月7日(日)-11日(木)
12日は舞台準備のため鑑賞できません。
- ◎ 時 間：月曜定休、火～金7:30-10:00/13:00-21:30
土・日7:30-10:00/16:00-21:30
- ◎ 料 金：1ドリンクオーダー ※予約不要
- ◎ 会 場：犀の角

5月13日(土)

『つっじの娘』の登場人物 “娘”の慰霊祭

山駈けの儀

民話『つっじの娘』に登場する娘の報われぬ想いへの追悼としての演劇作品を、一晩かけて上演します。

娘に扮した俳優は開演後「犀の角」を出発して、上田市内の虚空蔵山（こくぞうざん）から太郎山（たろうやま）を駈け、夜明け前に「犀の角」に戻ります。娘が山を駈けている間「犀の角」では、娘と物語に想いを馳せる手助けとなるパフォーマンス（演奏、朗読）を夜通し行います。「犀の角」あるいは「あらゆる場所」で、五感の先の“第六感”を解放して、遠く離れた身体によって紡がれる物語をお楽しみください。

- ◎ 日にち：令和5年5月13日(土)

- ◎ 時 間：18:30-翌朝（18:00開場）

- ◎ 料 金：（現地一般）3,000円／（現地U-22）1,500円
（遠隔）2,000円 つっじ祈願お焚き上げ料 +500円

- ◎ 上演会場：犀の角～虚空蔵山～太郎山（山道・山頂での鑑賞はありません）

- ◎ 式 場：犀の角あるいは（「太郎山」及び「虚空蔵山」に思いを馳せることができる）あらゆる場所

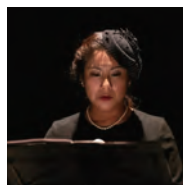
出演：寂光根隅的父（娘）、GOKU（男）、山崎到子（朗読）、小野秀（演奏）、大沢夏海（演奏）
花：塚田有一 併走サポート：清水洋幸 構成・演出：荒井洋文 再話：塩田平民話研究所

要予約
ご予約はこちら



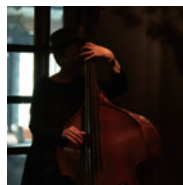
寂光根隅的父 じゃこうねずみのパパ

演出家、舞踏家、山伏、双身機関代表。高校在学時より演劇を始める。1990年代にアスベスト館、天使館などで舞踏を学ぶ。1995年に双身機関を結成。企画・演出を担当。



山崎到子 やまさきとうこ

長野市在住。俳優。長野県内で様々な舞台に出演。ゴスペルシンガーとして県内各地でコンサートを開催している。ダンサーとして様々な楽器とのコラボレーションも行っている。



大沢夏海 おおさわなつみ

長野市在住。デザイン業、ベースとたまに歌。たまに演劇。本公演では宣伝美術とベースを担当。



GOKU ごく

詩を書くことと、詩を読むことを、同じに愛でる者。誰に向かって書くのか、誰に向かって読むのか、その答えが実はワタンに向かってであると、20年読んで気がついた2023年。



小野秀 おのひで

ソラの上にはシがあって、いつかはみんなに還る。その仕組みに寄り添ったり逃げ回ったりしながら積み上げる人。Gt/Pf/Syn ねこ 作曲 即興演奏



塚田有一 つかだゆういち

有限会社温室代表。草月流家元アトリエ、イデーを経て独立。装景家、華道家。ランドスケープや作庭、花活け、装飾、オフィスの greening など植物による空間編集のほか、ワークショップも多数手がける。

- ・主催者挨拶
- ・来賓挨拶
- ・出立の儀

演奏の儀

- ・餅の儀
- ・歓喜の舞
- ・主催者挨拶

つっじ祈願

（お焚き上げ）

閉会

5月13日(土)	18:00	18:30	19:30	21:00	23:00	25:00	26:00	27:00頃	翌朝
▲ 娘		出立	入山	虚空蔵山 山頂通過	太郎山山頂 通過	表参道登山口 通過	犀の角 到着		



『山駈けの儀』の楽しみ方

- その1 犀の角で参列 式場で慰霊祭に参列した後、山へ向かうむすめを見届け、待ち、祈り、そして迎える
- その2 第六感で参列 自宅をはじめあらゆる場所から慰霊祭に思いを馳せ、むすめの想いを受け取る

つっじ 祈 願

誰にも言えない、貴方の秘めた呪詛呪言を手紙にしたため、犀の角までお寄せください。お預かりした手紙は封をしたまま娘と共に山を駈け、上演の最後にお焚き上げ（有料）させていただきます。

〒386-0012 長野県上田市中央2丁目11-20
※送料はご負担ください。直接お持ち込みも可能です。
※お焚き上げ料：500円 右記QRコードよりお納め下さい。

